

「令和3年度 若者政策アイデアワークショップ運営業務委託」

企画コンペティションに係る質疑回答

Q1. 各局の解決したい政策課題テーマは、その意図することが汲み取られていれば
若者がイメージしやすいようなテーマに置き換えることは可能か。

A1. 市と協議の上、若者に馴染みやすいテーマ名に置き換えることを想定しています。

Q2. 昨年度事業の活動支援においても、ファシリテータを選定する必要があるか。

想定する必要がある場合、昨年度担当したファシリテータに再度依頼することが効果的と考えるが
情報提供は可能か。

A2. 令和2年度事業の活動支援においても、ファシリテータの選定が必要です。

昨年度事業の実施内容についてはホームページに掲載していますので、ご覧ください。

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/soumu/02000008_00001.html

Q3. 昨年度事業の活動支援において、昨年度参加した若者メンバーはそのまま引き継がれるのか。
もしくは新たに募集をかける必要があるか。

昨年度の参加者が昨年度テーマのワークショップに参加することが効果的と考えるが、
情報提供は可能か。またその前提で企画提案を行ってもよいか。

A3. 令和2年度の政策提案実現に向けて、昨年度メンバーの一部が既に参加の意思を示しています。

また、その他の昨年度の参加メンバーへ再度お声かけすることを想定しており、
市から情報提供することは可能です。

さらに追加メンバーが必要となった場合には市と協議の上、新たに募集を行うこととなります。
上記を前提に企画提案をお願いいたします。

Q4. 昨年度事業の資料一式や振り返り・課題等は昨年度委託事業者から引継ぎは可能か。

A4. 本年度の委託事業者には、本市より令和2年度の事業報告書を共有させていただきます。

Q5. ワークショップの対面開催について

オンラインと対面、どちらが優先されますでしょうか？

(感染症拡大状況によると存じますが、募集要項では原則オンライン開催、仕様書では
原則対面開催となっており、念のため伺う次第です)

A5. 募集要項に記載ミスがございました。申し訳ございません。

原則、対面での開催を想定しております。

Q6. ワークショップの会場について

対面開催の場合、市の会議室等をお借りすることは可能でしょうか？

A6. 市庁舎内の会議室は利用できませんが、市有施設での開催は可能です。

(市主催事業として減免申請できます。)

Q7. ワークショップの実施回数について

1テーマ1グループでもよろしいでしょうか？また、全グループに同じ時間に集まっていただき、それぞれのグループに対して同時並行でワークショップを実施してもよろしいでしょうか？

A7. 1テーマ1グループの想定で構いません。

また、全グループを同時刻に集め、同時並行でワークショップを開催することは可能です。ただし、別の方法の提案を否定するものではありません。

Q8. 令和2年度提案テーマについて

「若者から受けた提案のうち3テーマについて」とありますが、令和2年度の4テーマのうち1～3番でしょうか。または任意の3テーマでしょうか？

A8. お見込みのとおり、令和2年度に若者から受けた3テーマについては「別紙2」の1～3番が対象となります。

Q9. 活動支援の目標設定について

令和2年度政策アイデア、令和3年度政策アイデアそれぞれに支援が求められていますが、年度中のゴールについてもご提案に含めるべきでしょうか。もしくは業務開始後に協議となりますでしょうか？

A9. 基本的には①を想定していますが、②の内容でご提案いただいても構いません。

① 令和3年度政策アイデアへの活動支援は、次年度の本格的な活動につながる動機付けやグループ作りなどをゴールとする。

② 令和3年度政策アイデアへの活動支援は、年度内での何らかの具体的取組の実現をゴールとする。